

子どもたちの安全・安心に貢献するデザイン、創造性と未来を拓くデザイン、そして子どもを産み育てやすいデザインの顕彰制度

『第6回キッズデザイン賞』 上位賞受賞作品一覧

最優秀賞「経済産業大臣賞」・「少子化対策担当大臣賞」・「消費者担当大臣賞」 優秀賞、審査委員長特別賞、TEPIA奨励賞、新設の復興支援デザイン賞

キッズデザイン協議会(内閣府認証NPO、本部:東京都港区、会長:和田勇)は、子どもの安全・安心と健やかな成長発達に役立つデザインを顕彰する「第6回キッズデザイン賞」受賞作品249点の中から、より優れた作品として、
最優秀賞にあたる「経済産業大臣賞」<4点>、「少子化対策担当大臣賞」<2点>、「消費者担当大臣賞」<1点>、
「優秀賞」<14点>、「審査委員長特別賞」<6点>、「TEPIA奨励賞」<1点>、「復興支援デザイン賞」<4点>を決定しました。

■最優秀賞となる「経済産業大臣賞」には、

【子ども視点の安全・安心に貢献するデザイン】として

★「子ども視点の安全・安心に貢献するデザイン 子供部門」より、サイズ調整専用の設備とカップインソールで、お母さんの「長く履かせたい」という要望と「成長する子どもの足に長期間フィットする」という課題をクリアした『サイズ調整中敷き搭載シューズ』(株式会社ムーンスター)

★「子ども視点の安全・安心に貢献するデザイン 一般部門」より、電気を使わず体重で動作する自動ドア『安心安全な無電自動ドア「ミーモ」』(株式会社福島エコロジカル)

【子どもたちの創造性と未来を拓くデザイン】として、

★「子どもの未来デザイン クリエイティブ部門」より、その漫画の世界観とつながった3次元の世界を体験でき、親子3世代で行ってみたいと思わせる魅力に溢れたミュージアム『川崎市 藤子・F・不二雄ミュージアム』(株式会社 藤子・F・不二雄プロ)

★「子どもの未来デザイン リテラシー部門」より、子どもの五感や感性を拓くための熟考されたプログラムと、その装置設計が圧倒的に優れている『山口情報芸術センター メディアワークショップの実践』(山口情報芸術センター [YCAM])
※第6回キッズデザイン賞に応募された4つのワークショップを1つにまとめて最優秀賞として受賞。

以上の4点が受賞しました。

■同じく最優秀賞となる「少子化対策担当大臣賞」には、

【子どもたちを産み育てやすいデザイン】として、

★「子どもの産み育て支援デザイン 個人・家庭部門」より、母親が赤ちゃんのおでこに手を当てるような自然なふるまいで検温できる『皮膚体温計H20 チビオンTouch』(ビジョン株式会社)

【子どもたちを産み育てやすいデザイン】として、

★「子どもの産み育て支援デザイン 地域・社会部門」より、行きやすく安全な百貨店の中に、知徳体の健全な成長をサポートする『子育てコミュニティ』を開設した『西宮阪急 子育てコミュニティ』(株式会社阪急阪神百貨店 西宮阪急)の2点が受賞しました。

■同じく最優秀賞となる「消費者担当大臣賞」には、

【キッズデザインのデザインミッションのいずれかに基づくテーマデザイン】として、

★「未来を担う消費者デザイン部門」より、住宅や街づくりという身近なテーマを通じて健全な消費者視点を育む『住環境教育DVD学習教材「家づくり・街づくりを考える」の制作・配布』(大和ハウス工業株式会社)

の1点が受賞しました。この他、「優秀賞」及び「審査委員長特別賞」、「TEPIA奨励賞」、「復興支援デザイン賞」を25作品が受賞しています。

「上位賞受賞作品一覧」及び受賞作品の概要と審査評は次頁からの通りです。
報道関係の皆様方におかれましては、ご配慮の程宜しくお願い致します。

＜デザインミッション＞			
部門（第6回キッズデザイン賞 応募数、受賞数）			
受賞賞	品目名	応募者_応募団体名	分野
＜子ども視点の安全・安心に貢献するデザイン＞			
子ども視点の安全・安心に貢献するデザイン 子供部門（第6回キッズデザイン賞 応募数：46点、受賞数：27点）			
経済産業大臣賞（最優秀賞）	サイズ調整中敷搭載シューズ	株式会社ムーンスター	商品デザイン分野
優秀賞	犯罪からの子どもの安全教育教材およびトレーニングプログラムの効果測定について	日本女子大学／株式会社ステップ総合研究所	リサーチ分野
優秀賞	JG遊具安全規準	株式会社ジャクエツ環境事業	コミュニケーションデザイン分野
子ども視点の安全・安心に貢献するデザイン 一般部門（第6回キッズデザイン賞 応募数：54点、受賞数：39点）			
経済産業大臣賞（最優秀賞）	安心安全な無電自動ドア「ミーモ」	株式会社福島エコロジカル	商品デザイン分野
優秀賞	多企業専門家との共同による「六本木ヒルズの安全性向上」に関する取り組み	森ビル株式会社	コミュニケーションデザイン分野
優秀賞	LEDネックライトシリーズ	パナソニック株式会社	商品デザイン分野
審査員長特別賞	永谷園A-Labelシリーズ	株式会社永谷園	商品デザイン分野
審査員長特別賞	子どものためのスマートユニバーサルデザイン～生活者とともに作る子どもの安全な成長を考えた住まい～	積水ハウス株式会社	コミュニケーションデザイン分野
＜子どもたちの創造性と未来を拓くデザイン＞			
子どもの未来デザイン クリエイティブ部門（第6回キッズデザイン賞 応募数：112点、受賞数：64点）			
経済産業大臣賞（最優秀賞）	川崎市 藤子・F・不二雄ミュージアム	株式会社 藤子・F・不二雄プロ	コミュニケーションデザイン分野
優秀賞	ボンキーペンシル	三菱鉛筆株式会社	商品デザイン分野
優秀賞	STOCS(ストックス)	株式会社CAST JAPAN	商品デザイン分野
審査員長特別賞	こどもOSに基づくデザイン発想ツール「プレイフル・デザイン・カード」の開発と検証	大阪府(大阪府産業デザインセンター)／積水ハウス株式会社／大和ハウス工業株式会社／パナソニック株式会社／株式会社ジャクエツ環境事業／NPO法人GIS総合研究所	コミュニケーションデザイン分野
審査員長特別賞	安藤百福発明記念館(カップヌードルミュージアム)	日清食品ホールディングス株式会社／公益財団法人安藤スポーツ・食文化振興財団／株式会社サムライ／株式会社トータルメディア開発研究所	コミュニケーションデザイン分野
子どもの未来デザイン リテラシー部門（第6回キッズデザイン賞 応募数：48点、受賞数：36点）			
経済産業大臣賞（最優秀賞）	山口情報芸術センター メディアワークショップの実践 ・ウォーキング アラウンド サラウンド ワークショップ ・アイトゥアイ ワークショップ ・ケータイ・スパイ・大作戦ワークショップ ・感覚アスレチックワークショップ	山口情報芸術センター[YCAM]	コミュニケーションデザイン分野
優秀賞	KUNDE(クンデ)	KUNDE プロジェクト(株式会社 木津潤平建築設計事務所／有限会社 巧人／有限会社 コラボレ／株式会社 ツナグプロジェクト)	商品デザイン分野
優秀賞	むさしの幼稚園	株式会社宮里龍治アトリエ	建築・空間デザイン分野
TEPIA奨励賞	HEMSがロボットになった！～次世代スマートハウス「GURUGURU」が提案するスマートロボット「リリボ」のエコナビゲーションシステム～	株式会社LIXIL住宅研究所 アイフルホームカンパニー	コミュニケーションデザイン分野

<デザインミッション>

部門（第6回キッズデザイン賞 応募数、受賞数）

受賞賞	品目名	応募者_応募団体名	分野
-----	-----	-----------	----

<子どもたちを産み育てやすいデザイン>

子どもの産み育て支援デザイン 個人・家庭部門（第6回キッズデザイン賞 応募数：52点、受賞数：39点）

少子化担当大臣賞（最優秀賞）	皮膚体温計H20 チピオンTouch	ビジョン株式会社	商品デザイン分野
優秀賞	勝手に光る安心耳かき ママ・ミエール	株式会社レーベン販売	商品デザイン分野
優秀賞	tonga トンガ・フィット	株式会社 ダッドウェイ	商品デザイン分野
審査員長特別賞	安心食育すり鉢	山只華陶苑	商品デザイン分野
審査員長特別賞	本藍染出産祝いセット	株式会社和える	商品デザイン分野

子どもの産み育て支援デザイン 地域・社会部門（第6回キッズデザイン賞 応募数：32点、受賞数：16点）

少子化担当大臣賞（最優秀賞）	西宮阪急 子育てコミュニティ	株式会社阪急阪神百貨店 西宮阪急	コミュニケーションデザイン分野
優秀賞	赤ちゃん木育ひろば	認定特定非営利活動法人 日本グッド・トイ委員会／株式会社 内田洋行	建築・空間デザイン分野
優秀賞	レイモンド庄中保育園	社法人 檸檬会／株式会社アーキヴィジョン広谷スタジオ／株式会社 マーズデザインワークショップ／小泉スタジオ	建築・空間デザイン分野

<上記のデザインミッションのいずれかに基づくテーマデザイン>

未来を担う消費者デザイン部門（第6回キッズデザイン賞 応募数：10点、受賞数：5点）

消費者担当大臣賞（最優秀賞）	住環境教育DVD学習教材「家づくり・街づくりを考える」の制作・配布	大和ハウス工業株式会社	コミュニケーションデザイン分野
優秀賞	子ども向け特許疑似体験サイト『ひらめきチャンピオン®』知的財産 出前授業「ひらめき教室」	株式会社山の手総合研究所	コミュニケーションデザイン分野
優秀賞	食育出張授業「カルビー・スナックスクール」	カルビー株式会社	コミュニケーションデザイン分野

— 新設 —

復興支援デザイン部門（第6回キッズデザイン賞 応募数：23点、受賞数：23点）

復興支援デザイン賞	津波で流出した写真の復元によって、人々の「絆」を蘇らせるプロジェクト ～未来に向かって羽ばたくための足場はここに。思い出の復元は故郷との絆の復元～	ニフティ株式会社／日本社会情報学会・災害情報支援チーム／富士通株式会社	—
復興支援デザイン賞	被災地との「絆」を持続的に深め、生きる勇気と元気を分かち合うプロジェクト ～リアルタイムで岩手と川崎の400kmをつなぎ、選手と子どもたちがエールを交換～	株式会社川崎フロンターレ／富士通株式会社	—
復興支援デザイン賞	ホンのちよっと しあわせはこぶ BookWagon	凸版印刷株式会社	—
復興支援デザイン賞	ファースト・バースデー・ギフト プロジェクト	公益財団法人ジョイセフ／Mamiversary／株式会社主婦の友社	—

子ども視点の安全・安心に貢献するデザイン

★子ども視点の安全・安心に貢献するデザイン 子ども部門 経済産業大臣賞

～子ども(0~15歳)を直接の対象とする製品、施設、サービスにおいて、安全に配慮されたものの中で最も優れたもの～

■作品名 : サイズ調整中敷搭載シューズ (受賞番号:120347a1)

■企業・団体名 : 株式会社ムーンスター

《開発の考え方》

成長期の子どもの足は成長が早く、すぐに買い替えが必要になる為大半の母親が適正サイズよりも大きめの靴を子どもに買い与える傾向にある。子どもの健康の為、母親の「長く履かせたい」という要望と「成長する子どもの足に長期間フィットする」という課題をクリアする為、サイズ調整専用の設備とカップインソールを開発。



《審査評》

丸子どもの身体の成長に伴うシューズのサイズ問題と、できるだけ長く履かせたいと思う親の願いを、中敷の交換という身近な発想で同時に解決した良品である。成長期の子どもの足への負担や変形を防ぐのみならず、長く履き続けるというもったいない精神の導入、兄弟姉妹でシューズをシェアできるなど、多くのメリットを併せ持ち、最優秀に値すると判断した。

★子ども視点の安全・安心に貢献するデザイン 子ども部門 優秀賞

■作品名 : 犯罪からの子どもの安全教育教材およびトレーニングプログラムの効果測定について
(受賞番号: 120361d1)

■企業・団体名 : 日本女子大学/株式会社ステップ総合研究所

《開発の考え方》

子どもが自分自身を守るだけでなく「危機に対し共に向かい合い、克服するために深い知恵と生き方を体得し、最後は21世紀を作る人間＝大人＝地球市民を育てる」ための、教育プログラムの開発を目指している。そのために実験と評価に基づく科学的論拠を基とした、一貫性のある「新しい体験中心子ども安全教育」の組み立てを効果測定を行いながら行っている。



《仕様》

トレーニングプログラムと、プログラムに基づいた「はんざいからの安全学習ノート」およびDVD、またその効果測定。

《審査評》

共有すべき知見として調査設計、効果測定、プログラム化がしっかりと作りこまれている点を評価した。科学的エビデンスに基づいた、発達段階に沿った安全教育プログラムは社会有用性が高く、地域や学校に広まっていくこと期待する。

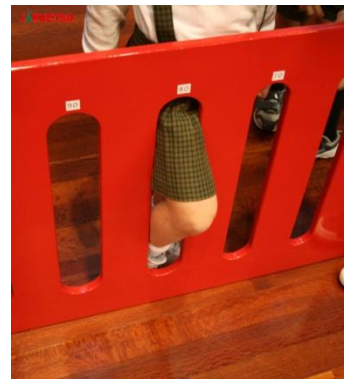
★子ども視点の安全・安心に貢献するデザイン 子ども部門 優秀賞

■作品名 : JQ遊具安全規準 (受賞番号:120312c1)

■企業・団体名 : 株式会社ジャクエツ環境事業

《開発の考え方》

近年、公園施設の利用は、児童から幼児まで幅広い年齢層で構成されておりますが、児童用遊具が多く、幼児にとってはリスクが高い施設です。また保育施設では未満児の収容が増え、乳幼児用遊具のニーズが高まっております。各年齢層が安全に使用できるように、児童、幼児に加え乳幼児を対象とした安全規準を策定しました。



《仕様》

各年齢を対象としたJQ遊具安全規準

・乳幼児:1～2歳 ・幼児:3～5歳 ・児童:6～12歳

《審査評》

クレーム報告書やモニター園のひやり・はっと報告書等の情報を蓄積・分析し、乳幼児、幼児、児童の年齢別に同社独自の遊具安全規準を作成、製品開発に活かすという、子どもの安全配慮への徹底した取り組みを高く評価した。規準値設定のために年齢別の検証器具を独自に考案、開発し子どもの実寸採取を行うなど検証システムも備えている点も良い。

★子ども視点の安全・安心に貢献するデザイン 一般部門 経済産業大臣賞

～子どもを含めた一般向けの製品、施設、サービスにおいて、子どもが接触する可能性があるもので、安全に配慮されたものの中で、最も優れたもの～

■作品名 : 安心安全な無電自動ドア「ミーモ」(受賞番号:120368a2)

■企業・団体名 : 株式会社福島エコロジカル

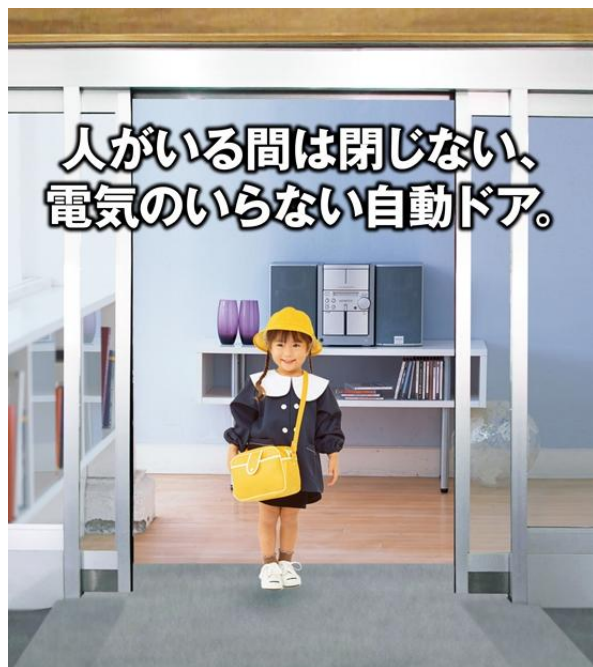
《開発の考え方》

電気を使わず体重で動作する自動ドアは、①強制的な開閉力を持たず、挟まれ事故の危険性はゼロ。②停電に関係なく自動ドアとして機能する。③水回りであっても漏電はない。④モータ、センサーがなく消費電力ゼロ(CO2発生ゼロ)⑤電磁波を出さず病院、精密機械工場等に使用できる。⑥メンテナンスフリーである。等人に優しいドアである。

《仕様》

安心安全な無電自動ドア「ミーモ」の仕様としては

①片引き標準型、②片引き車椅子対応型(踏み板が大)③両引き標準型(車椅子対応兼用)の3タイプを常備している。店舗、工場でも使用できる大型の特注対応も可能。



《審査評》

構造的にはシンプルでありながら、停電時の安全性、手動での開閉、省エネルギー性、メンテナンスの容易さなどを併せ持つ新発想の自動ドアである。最小荷重を調整することで小さな子どもが単独で乗っても開かない工夫も施され、ふいの飛び出し時の事故防止にもつながる。複雑な機能を付加するのではなく、発想と工夫で社会的インパクトを与えるキッズデザイン製品開発が可能であることを印象づけた。

★子ども視点の安全・安心に貢献するデザイン 一般部門 優秀賞

■作品名 : 多企業専門家との共同による「六本木ヒルズの安全性向上」に関する取り組み
(受賞番号: 120234c2)

■企業・団体名 : 森ビル株式会社

《開発の考え方》

安全対策には終わっても常套手段もなく、大切なのは日々の活動の積み重ねです。痛ましい事故を教訓にした社内安全活動の継続的实施に加えて、多企業の専門家との協同による多様な視点による安全性向上に関する活動を行いました。そして、改修工事やオペレーション変更の実施、その水平展開、事故の未然防止に役立っています。

《仕様》

施設を安全に安心してご利用頂くために、社員による安全点検に加えて、社外の専門家43名(14企業6団体)を招いた多様な視点による安全点検を行いました。この活動の効果は、施設の安全性向上のみならず、専門家が視点を共有して更に視野を広げることにあります。知見は他施設へ水平展開すると共に、想像力を駆使して事故の未然防止に役立っています。更には、継続的な観察活動や啓発活動により、リスク評価や意識醸成に活かします。



《審査評》

各企業の専門分野の視点から子どもの事故防止のための知見を集約し、自社の商業施設のリデザインに活かすという本質的かつ意欲的な取り組みを高く評価した。大規模施設内で想定される子どもの行動や遊びなどを予見し、シナリオワークショップ的アプローチによって空間を見直している点は他の多くの施設でも参考になるものである。

★子ども視点の安全・安心に貢献するデザイン 一般部門 優秀賞

■作品名 : LEDネックライトシリーズ (受賞番号: 120356a2)

■企業・団体名 : パナソニック株式会社

《開発の考え方》

両手が使えるハンズフリーライトとして、2005年から発売して以来進化させてきた。お求めやすい価格化と点滅機能追加によって、子供の夜間の外出や帰宅の途中での安全・安心を高める商品へと改善させ、足元の安全確保から、防犯、事故防止まで、幅広い用途でお使い頂けるようになった。

《仕様》

通常点灯、点滅の切り替えは、プッシュボタンで簡単に操作できる。また、エラストマー素材によるソフトな触感、負担の少ない40gの軽量ボディ、首締め防止構造。



《審査評》

小型・省エネのLEDライトとしてはスタンダードな製品であるが、子どもの夜間の歩行や自転車通学時にも外部からの視認性を高めるために手軽に活用できる安全対策グッズとして改めて評価されるべきものである。一定の荷重でネックの接合部がはずれる構造で安全機能も備えている。

★子ども視点の安全・安心に貢献するデザイン 一般部門 審査委員長特別賞

■作品名 : 永谷園A-Labelシリーズ (受賞番号:120142a2)

■企業・団体名 : 株式会社永谷園

《開発の考え方》

年々増加傾向にある食物アレルギーをお持ちの方やそのご家族にとり、毎日の食事は深刻な問題である。「食物アレルギーを持つお客様の苦労を少しでも軽減し、安心しておいしく食べられるものをお届けしたい。さらに食物アレルギーをお持ちではない方にもおいしく、安全に食べられる商品を作りたい」という思いから開発した。



《仕様》

食品衛生法上、表示義務の特定原材料「卵・乳・小麦・えび・かに・そば・落花生」のうち「卵・乳・小麦・そば・落花生」、食物アレルギーでお困りの方が多い「大豆」と「香料・着色料」「化学調味料」未使用の商品。

《審査評》

震災時の一時避難所でもアレルギーを持つ子どもたちへの食品供給が課題になった。食物アレルギー対応の食品群をパッケージ化した点は社会有用性が高く、子育て支援の面においても有益な優れた提案である。

★子ども視点の安全・安心に貢献するデザイン 一般部門 審査委員長特別賞

■作品名 : 子どものためのスマートユニバーサルデザイン～生活者とともに作る子どもの安全な成長を考えた住まい～ (受賞番号:120262c2)

■企業・団体名 : 積水ハウス株式会社

《開発の考え方》

子どもの身体・行動特性に基づいた安全の確保とともに、多くの経験を通じて自ら生きる力を身につけてほしいという“子育て”の視点を大切にしました。この子どものためのUDを理解し、住まいの工夫・暮らしの工夫を学んでいただくために、専用のツールや住宅展示場において親子で楽しく学べる仕掛けをご用意しました。

《仕様》

- ①住まいづくりの検討場面において、“子育て”視点のUDを分かりやすく理解するためのコミュニケーションツール。
- ②住宅展示場において、キャラクターを用いることで親子で楽しく学び体験できる、UD発見ツール。



《審査評》

子ども視点でのものづくり、空間づくりがユニバーサルデザインの基本となりえることを実感できるコンテンツ、実空間におけるサインやカード設置等の気づきの仕組み、これらに基づいた具体的製品、空間の提案まで、危険源と安全対策を意識化させるためのストーリーがよくまとまっている。普段は気づきにくい家庭内事故要因を可視化することで、ユーザーの意識革新をも促すことができるだろう。

★子どもの未来デザイン クリエイティブ部門 経済産業大臣賞

～子どもの創造性、感性、五感を育み、自らが進んで創造的な行為に取り組むことを促すもので、新たな発想、工夫、手法があるものの中で最も優れたもの～

■作品名 : 川崎市 藤子・F・不二雄ミュージアム (受賞番号:110075c3)

■企業・団体名 : 株式会社 藤子・F・不二雄プロ

《開発の考え方》

原画の魅力に直接触れ作品を心ゆくまで味わい「まんが世界」の楽しさを感じてもらえる／藤子・F・不二雄の「遊びゴコロ」に触れて笑顔になれる／「SF-すこしふしぎ-」を体感できる／訪れた人の好奇心を満足させる／周りの自然と共存し季節を感じられる／配慮の行き届いた人にやさしく「心地よい」ミュージアム。

《仕様》

敷地面積:約7,200㎡ 述床面積:約3,600㎡ 鉄筋コンクリート造 一部鉄骨造、地上3階建て
1日2000人、年間50万人集客目標、収蔵原画枚数:約5万枚、



《審査評》

いまや国内のみならず海外でも著名なキャラクターであるが、その漫画の世界観とつながった3次元の世界を体験でき、親子3世代で行ってみたいと思わせる魅力に溢れたミュージアム。空間や展示の細部にわたる仕掛け、意匠にもこだわりがあり、子どもに発明や発見の楽しさを喚起させる創造性開拓への努力を高く評価した。

★子どもの未来デザイン クリエイティブ部門 優秀賞

■作品名 : ポンキーペンシル (受賞番号:120025a3)
 ■企業・団体名 : 三菱鉛筆株式会社

《開発の考え方》

筆圧に不慣れな児童が思いっきり描いても軸折れしにくい全芯タイプの色鉛筆。色紙・色画用紙の上でもハッキリと濃く発色し、ペットボトル・牛乳パック・紙粘土・ガラス・金属・石・木・プラスチックにもクッキリ描け工作彩色に適し、児童の創作意欲をかきたてる。

《仕様》

描く時の摩擦熱で水あめ状となる定着しやすいがべつつかない新開発芯。クレヨンと異なりノンオイル芯の為、平滑面でも滑らず濃くクッキリ描ける。



《審査評》

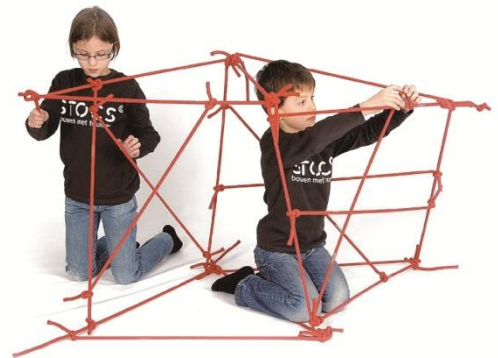
プラスチック、ガラス、金属などあらゆる素材に鮮やかに書ける新発想のペンシルであり、子どもの創作意欲をかき立てる良品である。子どもはぐり握りでの高い筆圧で絵や字を書くことが多いが、折れにくさへの対策も施され、実用的である。

★子どもの未来デザイン クリエイティブ部門 優秀賞

■作品名 : STOCS(ストックス) (受賞番号:120265a3)
 ■企業・団体名 : 株式会社CAST JAPAN

《開発の考え方》

オランダの建築家が考えた新しい知育玩具<STOCS>。デザイナーであるMr.ブラムは大学院で物理学を専攻し、後にアートスクールで美術を学びます。そして建築デザイン会社を経営し、いくつもの学校関係の建物やインテリアを設計する事になりました。そして次第に彼は、子どもの独創的な想像力を生み出す場所を創りたいと考えだし、「STOCS」を考案いたしました。「構成と創造」、「科学と教育」そして日常の中にある「ロープ使い」の有効性。子どもたちが遊びながらこの3つの要素を「STOCS」で育むことができます。いつか世界中の子ども達と人種や言葉を超え、文化の壁をも壊して、みんなでアイデアを繋ぎ合い、ストックスで巨大な街を創りたいと考えております。



《仕様》

輸入元:オランダ 生産地:中国。耐久性と軽量化を図るために素材にはグラスファイバーを使用しております。両サイドが柔らかくなった棒縄を結んで立体的に構造物をつくることができます。お家やテント、船や動物など創造次第で何でも作ることができます。お一人で黙々と作っていただいても良いですし、お子様と大人の方が一緒に室内や公園・ビーチなどで遊んでご使用いただけます。

《審査評》

建築家の発想から生まれた、シンプルかつ可能性を秘めた魅力的な遊具である。子どもは結ぶというひとつの行為からこれほど多くの造形、意匠が生まれることに驚き、完成品を使ったさまざまな遊び方の工夫でさらに考える。良質なクリエイティブ遊具のお手本である。

★子どもの未来デザイン クリエイティブ部門 審査員長特別賞

■作品名 : こどもOSに基づくデザイン発想ツール「プレイフル・デザイン・カード」の開発と検証
(受賞番号:120207c3)

■企業・団体名 : 大阪府(大阪府産業デザインセンター)/積水ハウス株式会社/
大和ハウス工業株式会社/パナソニック株式会社/株式会社ジャクエツ環境事業/
NPO法人GIS総合研究所

《開発の考え方》

デザイン発想に必要な問題発見力と創造力を10歳前後の子どもたちの自由な行為(こどもOSランゲージ)に求め、カードツールへ落とし込みました。表にはプレイフルなデザインコードを、裏にはハザードの芽を摘み取る安全・安心コードをまとめました。このカードは様々な商品開発の現場で触媒として活用していただけます。



《仕様》

21個のランゲージがセットになった、子どもたちに特有の行為や思考(こどもOSランゲージ)をまとめたヨコ134mm、タテ190mmのデザイン発想のためのカードツール。

《審査評》

子ども特有の行動特性や心理特性などをデザインコード化した「こどもOS」をユニークなカード形式で発想ツールに進化させた意欲的な取り組み。表には大人が忘れてしまった子どもならではの行動から学ぶ新たなデザインコード、裏にはそれが時には事故要因にもなりえるという注意喚起につながる安全安心コードを記載しており、複層的にクリエイティブマインドを喚起させる。

★子どもの未来デザイン クリエイティブ部門 審査員長特別賞

■作品名 : 安藤百福発明記念館(カップヌードルミュージアム) (受賞番号:120277c3)

■企業・団体名 : 日清食品ホールディングス株式会社/公益財団法人安藤スポーツ・食文化振興財団
株式会社サムライ/株式会社トータルメディア開発研究所

《開発の考え方》

子どもたちに発明・発見の楽しさや面白さを伝え、豊かな創造的思考(クリエイティブシンキング)を育むことをコンセプトに設計した体験型ミュージアムです。

子どもが麺となり工場の製造工程を体感できるアスレチックや展示物に直接触れて発明・発見のヒントを感じ取れる展示室等、子どもの五感に訴える工夫を施しています。



《審査評》

創業者の理念をミュージアムという形へ昇華させた、子どものクリエイティブマインドを育てるユニークな展示構成に好感が持てる。自らが麺となり製造工程を体験するなど従来の視点を変換させた展示、身体性を取り入れた体験コーナーなどの工夫が随所に見られ、何度も発見がありそうである。

★子どもの未来デザイン リテラシー部門 経済産業大臣賞

～子どもが地域社会、歴史、伝統工芸などを始め、様々な知識の取得や、運動力の向上、スポーツへの参画を促すもので、
新たな発想、工夫、手法があるものの中で最も優れたもの～

■作品名 : 山口情報芸術センター メディアワークショップの実践
(受賞番号: 120288c3、120298c3、120304c4、120349c4)

■企業・団体名 : 山口情報芸術センター [YCAM]

<walking around surround(ウォーキング アラウンド サラウンド)ワークショップ> 120288c3

《開発の考え方》

オリジナル開発した持ち運びが可能な8つのワイヤレススピーカーを使ってサウンドについて学べるワークショップです。最大の特徴は「空間の作曲」です。スピーカーから流れてくる音の時間軸、つまり作曲は同じであっても、音源の配置を変える事で曲の印象は大きく変化していくことを体験的に理解することができます。

《仕様》

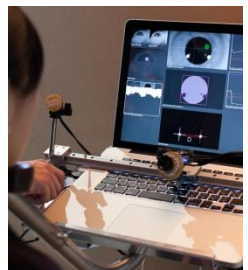
独自に開発したサウンドシーケンサソフトと8チャンネルのワイヤレススピーカーを用いて、時間的にも空間的にも自由に音を配置することができます。



<Eye2Eye(アイトゥアイ)ワークショップ> 120298c3

《開発の考え方》

視線入力技術を使ったワークショップです。元々のオープンソースソフトウェア(The Eyewriter)に改良を加え多数の視点を一つの画面で共有しながら運用できるよう再開発しました。



<ケータイ・スパイ・大作戦ワークショップ> 120304c4

《開発の考え方》

予め用意されたルールを守る／破るという視点ではなく、全員が安全で公正に楽しめるルール作りを討議します。また、序盤に「不用意な撮影の嫌な気分」つまりメディアの暴力性という話題を紹介、その後興奮するゲームを行ないます。楽しさと危険性を孕んでいるメディアの特徴が体験的に伝わるよう工夫しています。

《仕様》

小学4年以上が対象の、携帯電話による鬼ごっこを楽しむワークショップです。携帯電話のカメラ機能を使い、自分が撮られないように他の人を撮り、撮った人と撮られた人の間でポイントを交換して勝敗を競います。



<感覚アスレチックワークショップ> 120349c4

《開発の考え方》

身体の動きを再発見するワークショップです。空間内に張り巡らされたゴムを避けながら動くことにより、自分の体の形状やスケール、普段は意識しない重心や身のこなしを理解します。日常とはかけ離れた美しい動作を自然と身につけるために、ゲーム形式で楽しく遊びながら学べるようにデザインされています。

《仕様》

自分の身体感覚を再発見するだけでなく、コンテンポラリーダンスの中に潜む動作や、その動きを生み出す背景となっている意識やイメージを詳しく観察できるようなりダンスなどの身体表現の鑑賞教育としても有効です。



《審査評》

子どもの五感や感性を拓くための熟考されたプログラムと、その装置設計が圧倒的に優れている。子どもたちが、「自己と他者」、「自己と社会」、そして「自己と自己」のコミュニケーションを経験するための、多様なアイデアとアプローチがいずれのワークショップにもたたえられており、4点を合わせての最優秀賞受賞とした。

★子どもの未来デザイン リテラシー部門 優秀賞

■作品名 : KUNDE (クンデ) (受賞番号:120321a4)

■企業・団体名 : KUNDE プロジェクト(株式会社 木津潤平建築設計事務所／有限会社 巧人
有限会社 コラボレ／株式会社 ツナグプロジェクト)

《開発の考え方》

釘や金具を使わず、木と木を組み合わせる日本の伝統構法(継手・仕口)を取り入れた「日本の家」が作れる木組みの玩具。子供から大人までが、見て、触れて、考えて、作る楽しみを体感しながら、古来より日本の家が持っている「安らぎ・優しさ」を次の世代に伝えることのできる玩具。

《仕様》

木の家の持つ温もりを大切に考え、塗装をせず無垢の木を使用。角の面取りをおさえる事で日本建築の持つ凛とした美意識を表現。幅広い年齢層(5歳-)を対象とする為、パーツは4種類のシンプルな構成で出来ている。



《審査評》

木を組み合わせ、継手や仕口といった釘や金具を使わない日本の伝統構法を学ぶ家づくりのキットであるが、遊具の域を超えた本格的なつくりが印象的で、作り手の強いメッセージを感じた。高い完成度は子どもたちのみならず、建築を目指す大人にも十分参考になりうるものである。

★子どもの未来デザイン リテラシー部門 優秀賞

■作品名 : むさしの幼稚園 (受賞番号: 120239b4)

■企業・団体名 : 株式会社宮里龍治アトリエ

《開発の考え方》

園舎の形態を山に向かって開き、幅員30mの道路に背を向けた形を選択。山側に半径約66mの円の中心を置き同心円上に園舎を配置。何処に居ても視線や意識が園庭や山へ向かうプランにし、園舎全体に深く自然が関わる形態にする事で、陽射しや風の動きなどから子供の心や体に体感として自然を感じ取れるような環境にした。



《審査評》

子どもにとって気持ちの良い、思い切った空間づくりであり、それぞれの設計に対する思想がきちんと備わっている点を高く評価した。空間を通じて伝えたいこと、子どもたちへの配慮を感じるデザインである。

★子どもの未来デザイン リテラシー部門 TEPIA奨励賞

■作品名 : HEMSがロボットになった！～次世代スマートハウス「GURUGURU」が提案するスマートロボット「リリボ」のエコナビゲーションシステム～（受賞番号:120132c4）

■企業・団体名 : 株式会社LIXIL住宅研究所 アイフルホームカンパニー

《開発の考え方》

次世代スマートハウス「GURU GURU」では子ども目線のHEMSとしてスマートロボット「リリボ」による住環境制御システムを開発しました。「リリボ」は外の環境（太陽、風、温度など）と住環境エネルギーの状況を読み取って最適マネジメントするだけでなく、最も省エネルギーになる行動を声で教えてくれます。



《仕様》

スマートロボット（リリボ）による住環境制御システムは（株）LIXILと（株）LIXIL住宅研究所が企画・開発し、そのインターフェースとしてNECのコミュニケーションロボット（PaPeRo）を採用。

《審査評》

住宅のエネルギーマネジメントシステムであるHEMSは環境センサー、エネルギー計測や制御技術の集積である。本作品ではロボットをインターフェイスとすることで、これら技術やエネルギーに対する難しさを払拭するとともに、アシスト機能によって省エネ行動の喚起をも可能にした。先端技術と暮らしの接点のこれからを予見させる意欲的な試みとしてTEPIAの理念に沿うものとする。

★子どもの産み育て支援デザイン 個人・家庭部門 少子化対策担当大臣賞

～主に子育ての当事者である親・個人(妊婦含む)が使用、利用し、安全かつ楽しく育児に取り組める工夫や心理的な負担や不安を軽減する工夫がなされたものの中で最も優れたもの～

■作品名 : 皮膚体温計H20 チビオンTouch (受賞番号:120140a5)

■企業・団体名 : ピジョン株式会社

《開発の考え方》

赤ちゃんが泣いていたり元気が無いとき、体調を調べるために家ですぐに行えることの1つとして体温の測定があります。しかし、赤ちゃんの体温の特徴や平熱のことなど意外と知らないことはたくさんあります。赤ちゃんの具合が悪い時に正しい対応をとるために普段から検温を習慣にしていってほしいという思いが開発の原点です。

《仕様》

推奨年齢:0～10才未満

表示:最小単位0.1℃

本体の重量:約45g(電池含む)

本体の寸法:高さ45.5mm×幅47.0mm

※本体収納ケース、体温記録表つき



《審査評》

母親が赤ちゃんのおでこに手を当てるような自然なふるまいで検温できる、子育て世代の思いやりを形にした優しいデザインが秀逸である。計測時間は1秒ととても短く簡単に平熱を測ることができるため、病気の際など普段との違いがすぐわかる。ユニバーサルデザインにも配慮した優れたデザイン性を併せて、育児の不安を払拭する日常グッズとして高く評価した。

★子どもの産み育て支援デザイン 個人・家庭部門 優秀賞

■作品名 : 勝手に光る安心耳かき ママ・ミエール (受賞番号:120332a5)

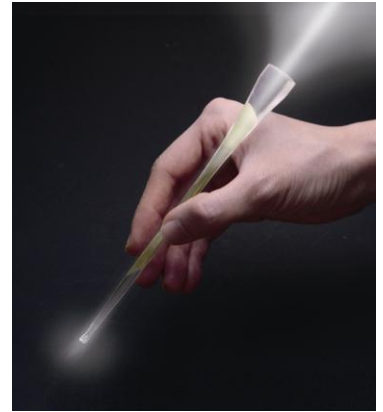
■企業・団体名 : 株式会社レーベン販売

《開発の考え方》

子どもへ耳そうじをする際、従来の耳かきでは、耳穴がよく見えず傷つけそうで怖い、電池式で光るタイプはプラスチック製の先端部が硬くて痛い、電池交換が面倒で使わなくなる等の課題がありました。
本製品は、従来製品の課題を一つ一つ見つけ直し、親と子が安心して気軽に快適に行える耳そうじ器を目指しました。

《仕様》

17×1.7cm、10g



《審査評》

独自の構造により外部の光を集め、電源不要で耳かきの匙部分を光らせるという斬新な発想に高い評価を与えた。子育てシーンの中で誰もが経験する悩みを解決する、子ども視点のものづくりへの誠意ある姿勢が素晴らしい。

★子どもの産み育て支援デザイン 個人・家庭部門 優秀賞

■作品名 : tonga トンガ・フィット (受賞番号:120366a5)

■企業・団体名 : 株式会社 ダッドウェイ

《開発の考え方》

サッと取り出してチョイ抱っこ！

「トンガ・フィット」は肩から斜めにかけてのだけ簡単に使えるベビーホルダー。フランス発のシンプルなデザインで15kgまで長く使え、全世界で愛用されています。リニューアルしたのはダッドウェイのスタッフ。より日本のパパママ、ベビーに使ってもらうために、ネット幅を広げて肩にくいこみにくい仕様になりました。

《仕様》

腰が完全にすわってから体重15Kg までのお子さまが適用範囲内です (腰すわりの目安は7カ月です)。

【サイズの目安】

S:~160cm M:160cm~ L:175cm~ XL:185cm~

※使用時のフィット感は身長、胸囲によって異なります。



《審査評》

日本人の体型、体格に合わせてデザインを改良した軽くコンパクトなベビーホルダーで肩への負担軽減などの工夫も凝らされている。カジュアルなファッション感覚で利用できる子育てグッズであり、子育てを楽しむライフスタイル提案の視点を評価した。

★子どもの産み育て支援デザイン 個人・家庭部門 審査委員長特別賞

■作品名 : 安心食育すり鉢 (受賞番号:120060a5)

■企業・団体名 : 山只華陶苑

《開発の考え方》

すりこぎを回す際、常にすり目に逆らうように設計され、利き手に関係なく力を入れずに使えるすり鉢です。磁器土で作られた物は、すり目の摩耗によって出る破片が、ガラスの様に鋭くなりますが、高田せっき土で作られた本品は、大きさのまばらな粒子が破片の鋭さを守るため、子供たちに安心安全なすり鉢です。



《仕様》

足下より産出する高田せっき土を、水簸という行程で優しく作って使っています。すり目の部分にまで釉薬を掛けてありますので、離乳食などを作った後の洗浄がとても容易になっています。

《審査評》

良質な土が採れることから古くより日用道具を作り続けてきた美濃地域の高田焼。このすり鉢は育児をする大人が自ら食材をすりつぶすことで、子どもに与える食べ物にも愛着を持って欲しいという願いが込められている。地域の技術や産業を活かした子育て支援の製品づくりとして高く評価した。

★子どもの産み育て支援デザイン 個人・家庭部門 審査委員長特別

■作品名 : 本藍染出産祝いセット (受賞番号:120256a5)

■企業・団体名 : 株式会社和える

《開発の考え方》

「日本に生まれて来てくれてありがとう」
大切な命を、職人がつくる日本の本物でお出迎え。
国際認証を得たオーガニックコットンを、化学染料を一切使わない伝統的な技法で丁寧に染めあげた、こだわりの本藍染です。
子どもたちの豊かな感性を育み、自国の文化や魅力を語れる真の国際人を育成するお手伝い出来ますように。



《仕様》

- ・産着(約50～60cm)
- ・フェイスタオル(約34×85cm)
- ・靴下(約7～8cm)

aeruオリジナル桐箱(D185×W270×H40mm)に入れてお届けいたします。

《審査評》

自然素材である藍には、抗菌作用、保温、保湿、紫外線カットなどの効用があり、乳児のか弱い肌を守るには最適である。江戸時代から受け継がれる本藍染の伝統技法を活かした産着は子育て同様、毎日の世話が欠かせず、愛着あるものになるだろう。日本が培った伝統技法と素材の機能を活かす発想にエールを送りたい。

★子どもの産み育て支援デザイン 地域・社会部門 少子化対策担当大臣賞

～保育園、学校など子育ての現場や自治体、各種団体で使用、利用され、複数の子どもや親を対象とした子育てを支援するものの中で最も優れたもの～

■作品名 : 西宮阪急 子育てコミュニティ (受賞番号:120316c6)

■企業・団体名 : 株式会社阪急阪神百貨店 西宮阪急

《開発の考え方》

行きやすく安全な百貨店の中に、知徳体の健全な成長をサポートする『子育てコミュニティ』を開設し、育児サポート型ワークショップなどを開催しています。

生活者・育児スペシャリスト・自治体・子育てNPO・モノの作り手・メディアなどが集まり、大型コミュニティの形成と地域の子育て支援の拠点となっています。



《審査評》

子育て世帯が集まる百貨店フロアをコミュニティとして捉え、子育ての知恵やノウハウ、不安払拭のための地域基盤をつくっている活動は社会有用性が高く、他地域の手本となるべき取り組みと言える。育児専門家、作家、NPO、企業等のコラボレーションによる多様なプログラム提案を実現しており、企業参加型の子育て支援プラットフォームの先導的モデルとして高く評価した。

★子どもの産み育て支援デザイン 地域・社会部門 優秀賞

■作品名 : 赤ちゃん木育ひろば (受賞番号:120063b6)

■企業・団体名 : 認定特定非営利活動法人 日本グッド・トイ委員会 / 株式会社 内田洋行

《開発の考え方》

親子が一緒に遊び、国産材に親しむことを目的とした木育推進型サロン。
室内には、子どもたちの豊かな想像力が膨らむよう抽象的な造形作品を数多く配置。
天井に浮かぶ雲のかたちや、枯山水をテーマとした「木庭」など想像の世界が広がる空間である。



《審査評》

都内の小学校だった建物を改装してつくられた美術館の一室にある木育サロンだが、シンプルかつ温かみのある空間づくり、造形物の展示構成など非常によくできている。子育て層の交流を促すサロン機能を併せ持ち、運営は地域ボランティアが担当するなど地域・社会の子育て支援の取り組みとしても高く評価した。

★子どもの産み育て支援デザイン 地域・社会部門 優秀賞

■作品名 : レイモンド庄中保育園 (受賞番号:120364b6)

■企業・団体名 : 社法人檸檬会 / 株式会社アーキヴィジョン広谷スタジオ / 株式会社マーズデザインワークショップ / 小泉スタジオ

《開発の考え方》

従来の保育園では、遊ぶ・食べる・排泄する・眠るといった子供たちの生活が諸室の機能によって分節されています。私達は子供たちの生活を連続した時間でとらえた空間と、そこに配したアートワークを使って、保育士が自らつくった物語を話し、子供たちがその続きを考えるといった立体的な絵本のような建築を目指しました。

《仕様》

アーチ型の断面空間を大小のアーチ型の開口が繋ぐ空間です。子供たちは、地下の街・潜水艦の中・雲の中と空間イメージを膨らませ、天窓からの光の変化に自ら気づき、お気に入りの場所を見つけて時間を過ごします。



《審査評》

独特のアーチ型の組み合わせによる大胆な空間構成は、親しみやすく子どもの記憶に残る空間となっている。随所に設けられたアートワークは子どもや保育士自らが物語を創作するきっかけを与える。過度な装飾を排除しつつ、子どもの創造性を喚起するデザインに好感が持てる。

★未来を担う消費者デザイン部門 消費者担当大臣賞

～小中学生(6～15歳)を対象とし、未来の自立した消費者となるべき子どもを育む取り組み、それに資する社会環境づくり、消費者の行動を促す取り組みなどで、新たな発想、工夫、手法があるものの中で最も優れたもの～

■作品名 : 住環境教育DVD学習教材「家づくり・街づくりを考える」の制作・配布
(受賞番号:120162c7)

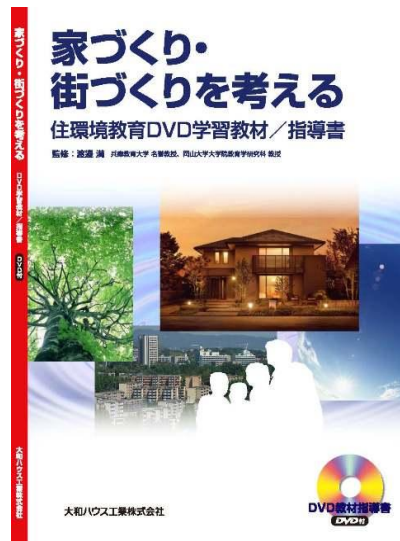
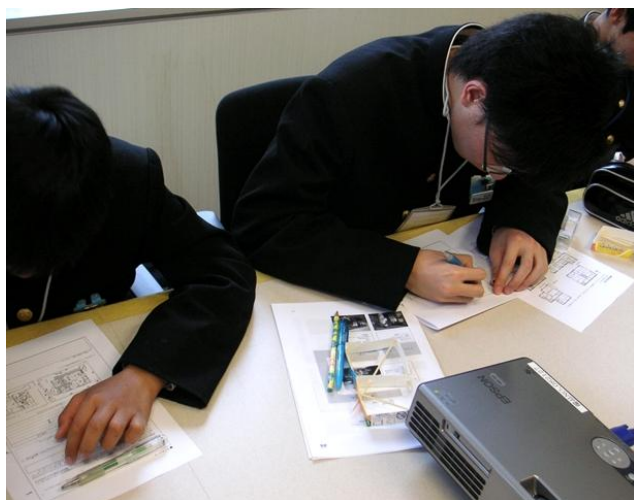
■企業・団体名 : 大和ハウス工業株式会社

《開発の考え方》

本教材は、小学校高学年から高等学校の生徒に、家づくり・街づくりをはじめ、地球環境や社会、地域などに興味・関心を持ってもらうため制作しました。先生の授業進行に役立つ多様な情報やデータを編集し、教材代は無料で、当社だけでなく教科書会社(東京書籍)の専用ホームページからもお取り寄せいただけます。

《仕様》

冊子:A4タテ見開き104ページ、掲載授業案は12点、
添付DVD:1枚・3章構成・約31分、巻頭カラーページ・ワークシートデータも保存



《審査評》

総合的な住環境教育プログラムであり、家庭科、社会、総合的な学習の教材として学校現場での実践的学習を可能にし、住宅や街づくりという身近なテーマを通じて健全な消費者視点を育むアプローチを試みている点を高く評価した。学校、研究者、メーカー、出版社の協働によるコンテンツ制作であることも発展の可能性を感じさせる。

★未来を担う消費者デザイン部門 優秀賞

- 作品名 : 子ども向け特許疑似体験サイト『ひらめきチャンピオン®』、
知的財産 出前授業「ひらめき教室」(受賞番号:120089c7、120090c7)
- 企業・団体名 : 株式会社山の手総合研究所

<子ども向け特許疑似体験サイト『ひらめきチャンピオン®』> 120089c7

《開発の考え方》

子ども達の創造力を豊かにする為、創造する楽しさ、モノの価値を理解し尊重する気持ち(知財マインド)を体感する事が大切です。

知財マインドの醸成は、モノづくりの楽しさを感覚的に理解し精神の育成に繋がります(知財力)。「ひらめきチャンピオン」を通じ、子どもの知財力を高める事は資源の無い日本にとって重要と考えます。

《仕様》

『ひらめきチャンピオン®』は、子ども向け特許出願疑似体験サイトです。募集テーマに基づき、子ども達が創造したアイデアを自由に投稿でき、登録番号が付与されサイト上で公開されます。(特許出願と同等の体験)



<知的財産 出前授業「ひらめき教室」> 120090c7

《開発の考え方》

資源を持たず技術・知財立国への道を進む事が必要な日本において、子どもはまさに「宝」です。子ども達が創造力豊かな大人に成長するには、創造する楽しさ、創造したモノの価値を理解し尊重する気持ち(知財マインド)を、子どもの頃に体感できるようにする事が大切であり、その手段として効果的なのが、知財教育だと考えます。

《仕様》

弁理士が知的財産の事を「人が考え出した良いコト・モノ」という表現に置換え、生徒達に知的財産についての出前授業を実施(ひらめき教室の目的)

- ・自主性・創造力の育成
- ・知財マインドの育成
- ・社会性の育成



《審査評》

知的財産や特許といった身近かつ重要でありながら経験の機会が少ないコンテンツに着目した貴重なワークショップである。創造する楽しさとその価値を知ることは自らの消費行動における選択眼を養うことにもつながることから、視点のユニークさを評価し、2点合わせての受賞とした。

★未来を担う消費者デザイン部門 優秀賞

■作品名 : 食育出張授業「カルビー・スナックスクール」(受賞番号:120208c7)
■企業・団体名 : カルビー株式会社

《開発の考え方》

子供の肥満が急増している傾向を改善する取り組みとして、子供達の大好きな「おやつ」をテーマにしたプログラムを小学校の学校栄養職員と一緒に開発しました。狙いは、子ども自身が「正しい食習慣」と「自己管理能力」に気づき行動することなので、楽しく理解がすすむようにゲームやクイズなど体験型です。

《仕様》

小学校3～6年生の授業(総合的な学習、家庭科、PTA親子活動など)で

①出張授業か②教材提供のどちらかを選びます。

詳しい情報は、<http://www.calbee.co.jp/foodcom>

カルビー・スナックスクール事務局 TEL098-857-3689



《審査評》

子どもと切り離せない「おやつ」をテーマにした食育プログラムだが、消費者教育という視点から見れば子どもの「自らの食生活の見直し」プログラムであり、消費行動の基礎とも言える。三千校を超える実績があり、その継続性も評価した。

★復興支援デザイン賞

- 作品名 : 津波で流出した写真の復元によって、人々の「絆」を蘇らせるプロジェクト
 ～未来に向かって羽ばたくための足場はここに。思い出の復元は故郷との絆の復元～
 (受賞番号:120136f8)
- 企業・団体名 : ニフティ株式会社 / 日本社会情報学会・災害情報支援チーム / 富士通株式会社

《開発の考え方》

流出した写真を洗浄し、その写真を本人に届け、感謝されるという一連の流れは、被災した地域の住民に対する無償の行為と、それを契機とした地域とのコミュニケーションの大切さを認識でき、全人教育的な意義が大きいですと言えます。ふるさとの人々の写真の洗浄に集中することで、心の平静を取り戻すなどの効果も期待できます。



《審査評》

写真という身近で思い出深い品物を復元、返却する活動を、企業、ボランティアのみならず地元の中学校の授業の一環として実施し、協働のプログラムにした点がよくできている。

★復興支援デザイン賞

- 作品名 : 被災地との「絆」を持続的に深め、生きる勇気と元気を分かち合うプロジェクト
 ～リアルタイムで岩手と川崎の400kmをつなぎ、選手と子どもたちがエールを交換～
 (受賞番号:120183f8)
- 企業・団体名 : 株式会社川崎フロンターレ / 富士通株式会社

《開発の考え方》

被災した陸前高田の子どもたちをスポーツを通じ継続支援する取組み。スタジアムでのスポーツ観戦の良さは、元気や絆の源泉となる周囲との一体感にあるが、遠地から被災地を支援するには物理的な距離が課題となる。本活動はICTを通じその課題を克服、選手をはじめ多くの人々と被災地との心の距離を近づけることを目指す。



《審査評》

岩手と川崎のスタジアムをICT技術でつなぎ、会場どうしの双方向でのやり取りを実現した点に新規性を感じた。他のスポーツ、イベントなどでも応用可能なアイデアである。

★復興支援デザイン賞

- 作品名 : ホンのちょっと しあわせはこぶ BookWagon (受賞番号:120212f8)
 ■企業・団体名 : 凸版印刷株式会社

《開発の考え方》

仮設住宅を巡回する移動図書館。本を貸すだけでなくベンチやテーブルで話したり工作もできる場を併設し、ゆっくり過ごせる居場所をつかった。本がきっかけとなって自然に人が集まり、会話や新たな出会いも生まれている。「人とのつながり」の大切さを未来に伝えるべく、子ども達の記憶に残るシンボリックなデザインを施した。



《審査評》

移動図書館と交流サロンを兼ねた巡回ワゴンの取り組みだが、地域や時期、対象者ごとに書棚の構成を変えるなど、きめ細かな配慮がある点に好感が持てる。

★復興支援デザイン賞

- 作品名 : ファースト・バースデー・ギフト プロジェクト (受賞番号:120376f8)
 ■企業・団体名 : 公益財団法人ジョイセフ/Mamiversary/株式会社主婦の友社

《開発の考え方》

被災から1年。仮設住宅や避難先で不安や孤独と闘いながら子育てをするママに1人じゃないよと伝えたい。過酷な1年を頑張ってきたママに心からの賞賛を送りたい。みんなの想いが1つになってこのプロジェクトが始まりました。1歳のお誕生日はママにとって特別な日。心をこめたファースト・バースデー・ギフトで少しでも元気になれることを祈って。

《仕様》

世界のママからの応援メッセージを印刷したカード、ママの最初の1年の悩みと喜びを描いた絵本『ママ Mamiversary』、被災したママのために作られた音楽『ルミエール』、ペーパークラフト、お絵かきセットを同梱。



《審査評》

震災のあった年に子どもが生まれた被災地のママへ、子どもが1歳になった月に絵本にメッセージカードなどを添えて贈る活動だが、困難な状況の中でも子育てに取り組むママへのエールは、子育てする親すべてが元気を持てるきっかけになるはずである。

★8月中旬には第1回から第6回のキッズデザイン賞受賞作品が検索可能なサイトがオープンします。
キーワード検索や分野別、キッズデザインのミッション別など様々な条件検索ができるサイトです。
ぜひご高覧くださいませようお願い申し上げます。

<応募企業様からのお問い合わせ先>

キッズデザイン協議会 事務局

Tel:03-5405-2141(平日 10:00~17:00) / Fax:03-5405-2143 / E-mail:info@kidsdesign.jp

受賞作品の画像素材のご要望等につきましては、下記、広報事務局までお問合せ下さい。

<本資料に関する報道関係の方からのお問い合わせ先>

『第6回キッズデザイン賞』広報事務局(フロンティアインターナショナル内)

担当:森・千葉

Tel:03-5778-4844 / Fax:03-5778-4747 / E-mail:frontier-pr@frontier-i.co.jp